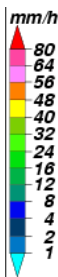
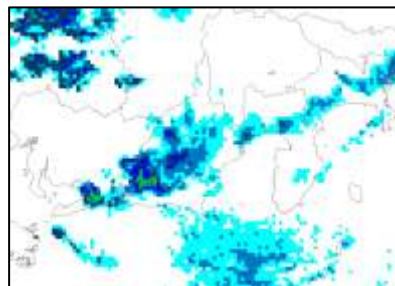
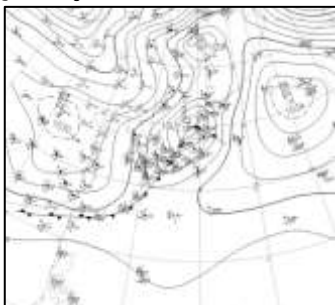


1. 気象経過

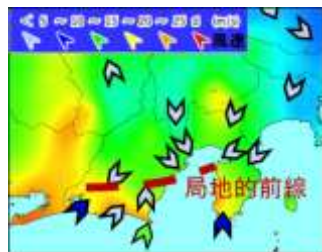
11月29日9時には山陰沖に前線を伴った低気圧があって、東北東に進んでおり、温暖前線が紀伊半島へと伸びていた。一方、北関東から甲信地方では、日中になっても気温が上がらず、15時には長野、東京、山梨県境付近に局地的な高気圧があって、県内の山地には冷たい北寄りの風が吹いていた。温暖前線が県内を通過していった夕方には、沿岸部では南西の風が強まり始めたが、北寄りの風との間に局地的な前線が山沿いに発生し、停滞した。この前線に向かって暖かく湿った風が流入し、前線上に次々と雨雲が発生し発達したため、中部、西部の山沿い及び東部を中心に大雨となった。



1997年11月29日21時地上天気図 1997年11月29日18時30分気象レーダー

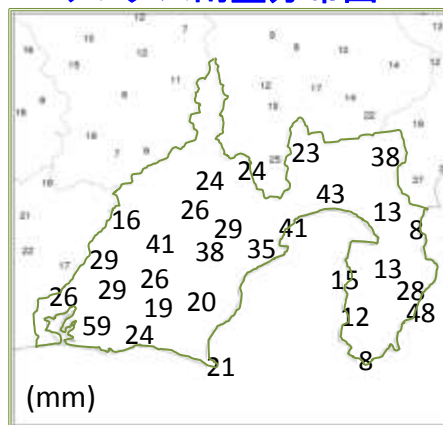
2. 大雨の原因、特徴

局地的な前線が発生したところに、温暖前線が通過し、前線が一体化して停滞することにより大雨となる本事例は、日本海低気圧による大雨の典型的なパターンである。今回の様に、日中に顕在化することは珍しい。時間帯に関係なく条件さえ整えば、大雨となる可能性を示唆している。なお、強雨が短時間で終了したのは、低気圧が順調に東進したことに加え、風が強く前線を北に押し上げていったこと、日中の冷気であったため解消されやすかったことなどがあげられる。

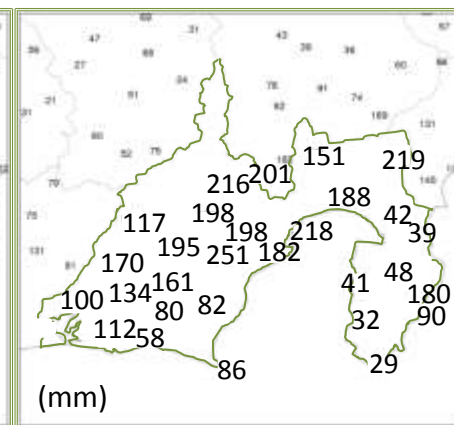


1997年11月29日15時 アメダスによる地上気温分布及び風向風速

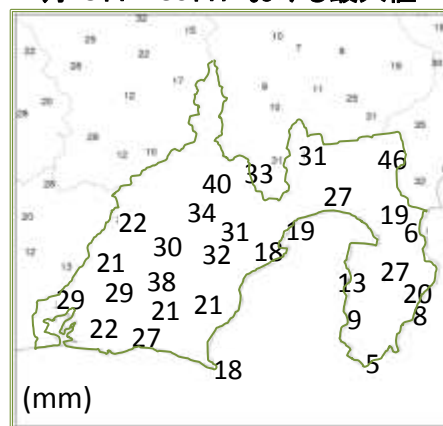
4. アメダス雨量分布図



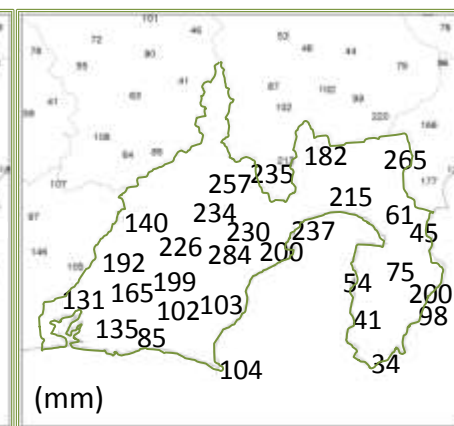
アメダス1時間雨量(正時毎)
11月29日～30日における最大値



アメダス日雨量
11月29日



アメダス日雨量
11月30日



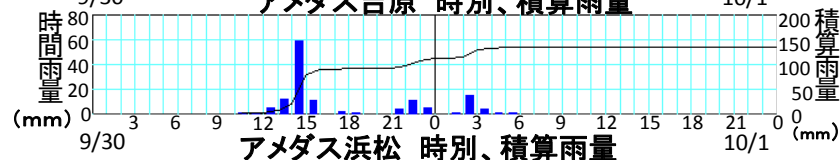
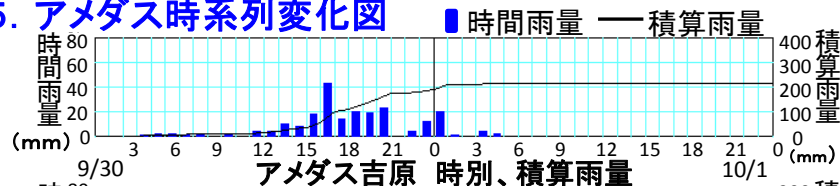
アメダス3日間雨量
11月28日～30日

3. 被害概要

	床上 浸水 (棟)	床下 浸水 (棟)	全壊 (棟)	半壊 (棟)	一部 壊壊 (棟)	死者 行方 不明 者 (人)	重傷 者 (人)	軽傷 者 (人)	倒壊 れ (カ所)	道路 閉鎖 (カ所)	停電 (カ所)	河川 氾濫 (カ所)	砂防 崩壊 (カ所)	鉄道 不通 (カ所)
全県	15	107	0	0	0	0	0	0	6	4	0	3	0	0
中部	1	1	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
西部	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
東部	14	106	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
伊豆	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-

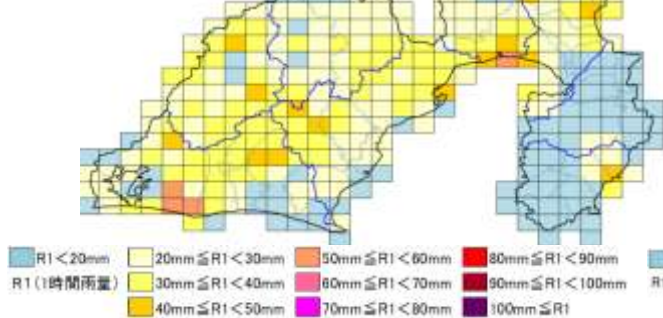
被害数は、静岡県 平成9年における災害の状況による

5. アメダス時系列変化図

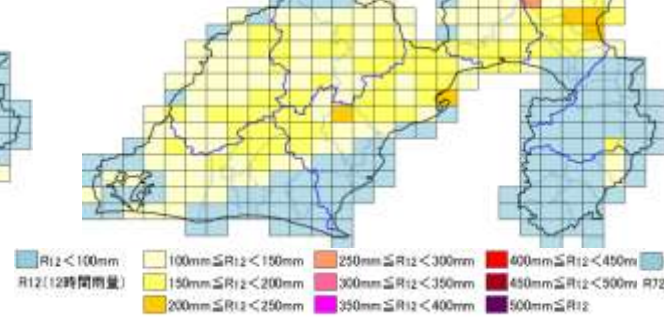


6. 解析雨量分布図

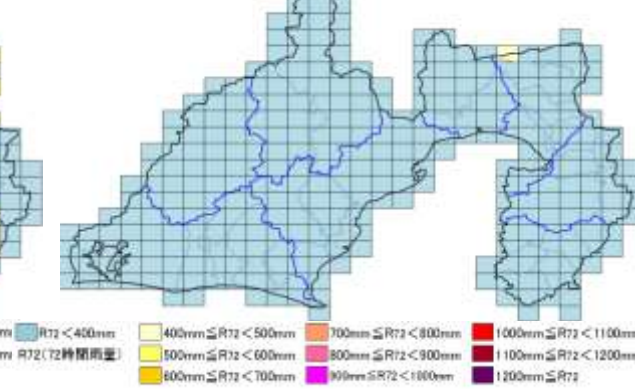
解析雨量(1時間雨量)
1997/11/29~11/30
期間内毎正時における
1時間雨量の最大値



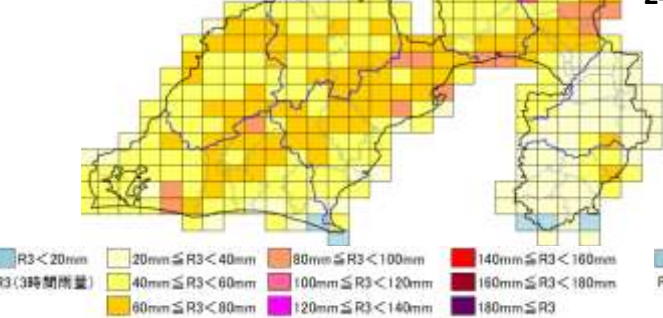
解析雨量(12時間雨量)
1997/11/29~11/30
期間内毎正時における
12時間雨量の最大値



解析雨量(3日間雨量)
1997/11/28~11/30



解析雨量(3時間雨量)
1997/11/29~11/30
期間内毎正時における
3時間雨量の最大値



解析雨量(24時間雨量)
1997/11/29~11/30
期間内毎正時における
24時間雨量の最大値

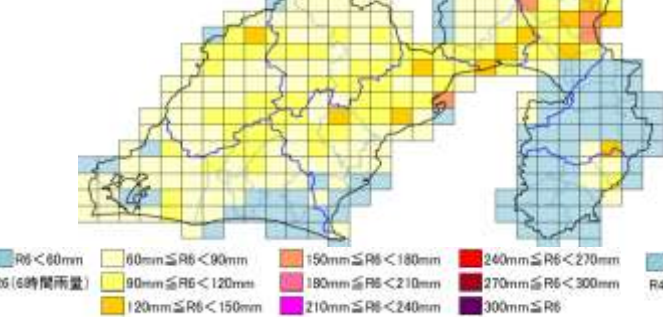


7. 床上、床下浸水被害分布図 (市町毎)

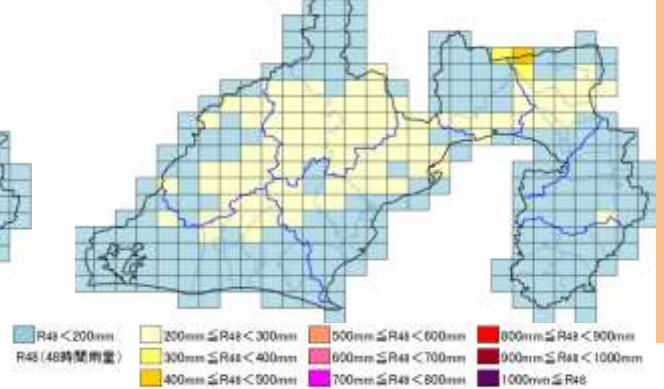


被害数は、静岡県 平成9年における災害の状況による

解析雨量(6時間雨量)
1997/11/29~11/30
期間内毎正時における
6時間雨量の最大値



解析雨量(2日間雨量)
1997/11/29~11/30



解析雨量と浸水害分布図からわかる大雨の特徴

短時間強雨は、西部から中部、東部の山沿いを中心に南西-北東の地域に発生している。1時間雨量では一部非常に激しい雨となったが、全般的には30mm程度であった。局地的な前線の影響を受ける東部では3時間雨量が多くなっており、一部で浸水害が発生している。